

私の勉強法

四宮 大親

私は勉強するのが苦手でした。大学入試のときに点数があがらず苦勞しました。というより失敗しました。一番の原因は「自分はやればできる。」と過信していたことです。

高校受験のときに私立B高校に13%の合格率で合格しました。もちろん勉強していましたが自分はやればできるのだと思い始めました。その後、第一志望であった公立A高校にとりあえず合格したものの学校生活は満喫していましたが、テストで良い点数はあまり取れませんでした。月日がたち、大学入試になり、ある大学の指定校推薦がもらえることになりました。しかし、自分はずっと上の大学に行きたいと思い、その大学には進まず他の大学を受験しました。しかし、どの大学も合格することはできませんでした。どの大学も高校受験と同じくくらいの合格率13%でした。

今だから言える一番の勉強法は、学校で勉強したことを家に帰って復習し、応用問題を解くことだと思います。塾があつたりとうまく時間はとれないかもしれませんが時間を見つけてやれば良いのです。余裕があつたら予習をちょっとすればさらに良いと思います。復習なんてしなくてもできる！！と思う人もいでしょう。それが過信の始まりです。教科ごとに分けて考えると

<国語>

まずはその單元ごとの漢字を覚えることです。そして、その漢字の別の使い方も覚えることです。例えば「疎外（そがい）」があれば「疎い（うと）」まで覚えれば良いのです。自分は国語が一番苦手でした。「作者の考えを述べよ。」や「主人公は何を思っていますか？」などわかるはずがないと思っていました。その問題を克服するためには本を読むしかないと思います。自分は本を読むのが大の苦手です。本を買うのは大好きです。本を読んでいると眠くなってしまうのです。ですから朝読書はとても良い時間だと思います。その時間だったら眠くなることないですね。

<数学>

いちおう数学を教える教師なので数学は得意で当たり前だと思うでしょうが中学一年のときは決して得意ではありませんでした。これも過信が原因でした。算数ができたから数学もできると思っていたのです。そこから抜け出したのは友達との出会いでした。勉強で張り合うようになり、「負けたくない。」と思って勉強しました。とにかくたくさん計算問題も解きましたし、応用問題も解きました。数学で点数が取れるようになり得意になったと思います。しかし、難しい問題に長時間かけて解いて達成感を得ようと思いましたがあれは時間をうまく使っていなかったと思います。5分考えて何も浮かばないときはその問題を解けるスキルが自分にはないと思います。解く時間を制限し、ダメなら答えを見て解法を知り同じような問題を解くことです。

<英語>

英語の勉強は、単語力と読解力だと思います。まずは単語と文法を覚えることです。次に読解力は英文を読み、わからなければ先に和訳を読み文の内容をつかむ、その上で英文を読むと単語や文法も知ることができるようになります。後は単語帳や短文帳もつくりました。時間のあいまなどうまく使うことができました。

<理科>

学校の授業が好きでした。実験など「うわー、すごい。」という感動があり、もっと知りたいと思って勉強していました。

<社会>

教科担任の先生が良かったなと思います。きっと暗記以外にも良い勉強はあるのだと思います。

最後に、時間は限られます。誰でも平等ですが解く時間は人によって別々です。だからおもしろい。